

## 今、社会が中学生に望んでいることとは

- 一所懸命勉強して、自分の力でよりよく生きること -

株式会社 開倫塾

代表取締役 社長 林 明夫

(社団法人経済同友会 幹事)

### 1. はじめに - 自己紹介 -

#### (1) 私の中学校時代(足利市立山辺中学校)

部活動 ・ チームワーク、練習で泣いて試合で笑え「自他共栄」(椎名弘先生)

生徒会活動 ・ 話し合うこと、話し合ったことを実行すること

クラスの仲間 ・ 一生の友達、一生の先生、くいついたら離すな「ブルドック魂」(岡田忠治先生、中3担任)

- 中学3年生のクラスの友達は一生の友達、大切にしよう -

#### (2) 私の高校時代(足利高校)

「一所懸命」(一つの所で命を懸けるくらい熱心に)勉強

上には上がいる。励まし合う仲間

英語に熱中

#### (3) 私の大学時代(慶應義塾大学法学部法律学科)

「独立自尊」(福沢諭吉)

「注意一秒 怪我一生」「最悪のことを考えて行動を」

学生寮生活も楽しい(栃木県学生寮)村上春樹「ノルウェーの森」

29歳まで大学の研究室で勉強

・ 世界銀行研究所  
・ ハーバード大学国際開発研究所  
・ シンガポール大学行政大学院

} 各々、民営化の短期集中コース修了

「多様性」(様々な生き方、考え方を知る)

#### (4) 現在の私の仕事「人生は一期一会」<sup>いちごいちえ</sup> - この瞬間を大切に -

開倫塾 塾長。

経営方針 {  
・ 教え方日本一の学習塾づくり  
・ 働くに値する職場づくり  
・ 倒産しない会社づくり

方針を決定すること、責任を取ることが仕事

マニー株式会社 社外取締役  
 宇都宮大学大学院情報工学研究科 非常勤講師  
 栃木県社会教育委員  
 学校制度改革懇談会 委員(宇都宮市教育委員会)  
 東日本学院 評議員 栃木県経済同友会 幹事  
 特別養護老人ホーム清明苑 理事 ラジオ栃木放送 CRT  
 開倫ユネスコ協会 会長 「開倫塾の時間」毎週土曜日 9:15 ~ 9:25 担当(18 年目)  
 開倫研究所 所長  
 経済同友会(東京)幹事 「世の中に少しでも役に立ちたい」

(5)好きな言葉

「一生勉強、一生青春」 相田みつを  
 「会った人は皆友達」 石川洋  
 「教育ある人とは一生勉強し続ける人」 ドラッカー

2. 今、社会が中学生に望んでいることとは - 「自分の力」で「美しく生きる」こと -

(1)「親」という漢字は、「木」の陰に「立」って「見」守るという意味。

保護者の下で守られながら生活できるのも、もう数年。

「自分の力」で生きる訓練をすること、「自分の力」で生きるだけの収入を得ること。

<「自分の力」で何から何まですることのできる能力を、一日も早く身に付けること>

(2)「仕事」は何のためにするのかを真剣に考えよう。<仕事をするのは自分の力で生きるため>

「ディーセント・ワーク(適正な仕事 decent work)」に就くことをめざそう。

生活できるだけの収入を得られる仕事。「顧客の問題解決」にならなければ仕事とは言えず、収入につながらない。

自己実現につながる仕事 「仕事の社会的意味」を知ること。

(3)ディーセント・ワークに就くための条件<自分の力でディーセント・ワークに就くこと>

「基礎学力」を確実に身につけていて、仕事の場で使えること。

- ・小学校・中学校での勉強はすべて役立つ。
- ・高校入試は、小学校・中学校の勉強をすべて確実に身につけるためにあると考えれば意味がある。

健康第一(健康とは、身体健康と心の健康)

躰(しつけ)が身に付いていること

躰とは { 「美しい立ち居振る舞い」服装第一  
 「敬語表現を含む言葉遣い」「ですます調」で話せること

×「だらしなさ」「ぞんざいさ」...職場では誰からも相手にされなくなる

顧客の立場に立ってものごとを考えられること。専門家(プロ)として、顧客の問題解決ができること。仕事で世の中にお役に立てること。

英語によるコミュニケーション能力。

コンピュータを使いこなせる能力。

世の中がこれからどうなるかを考えながら仕事ができること。新聞を1日1時間以上読み続け、考えることができること。

社会のルールを守ることができること。法律や道徳に反した行動をしないこと。(犯罪をおこさない、犯罪の被害者にもならない)

仕事についての勉強をし続けて、「専門性」を深められること。(長い時間1つのことに取り組むことができるのも大切な能力)

自分の仕事の社会的使命(mission ミッション)をいつも考えながら、仕事をし続けることができること。

大切なことは「メモ」を取り続け、「メモ」を正確に覚えること。 - 取った「メモ」は紛失しないようファイルすること -

(4)本を読むこと。本を深く読んで考えること。<自分の力で考えること>

本は、最低でも3回、できれば5～6回読んで「考えること」。

本を読んで気に入ったことや必ず覚えておこうというところは「書き抜き読書ノート」に書き抜いて、「宝物」とし、何回も、何十回も声に出して読んでみる。ことばの「定義」(いみ)を正確に覚えて、自分のものにすること。

楷書で書き取り練習をして語句を正確に書けるようにすること。

1日1回は心静かにその日を省察する(かえりみる)時間を持つこと。机に向かうこと。できればたとえ1ページでも静かに本を読むこと。

(5)健康の維持(100歳以上生きられる時代になった)<自分の力で健康を維持すること>

「いつまで若々しく生きる」ために「身体の健康と心の健康」を

- ・タバコはすわない。(一生すわない)
- ・アルコールは口にしない。(20歳以上までは口にしない)
- ・外から帰ったら薬用石鹸で手のくるぶしまで2回洗い、うがいも十分に。
- ・糖分、油ものを大量に摂取しない。毎食後歯磨きを。

病気になったら、病気と闘いよい方向にもっていく。(Never Give Up!! あきらめない)

リフレッシュの方法を身につける。ストレスをためない。週に1回は楽しいことを。

音楽、美術、技家、保体は最も役に立つ科目。楽しみながら本格的な取り組みを。

- ・東京は、世界の文化の中心地の一つ。
- ・東京のよさを知り、生活の中に生かそう。

新聞やTVの健康に関する記事や番組を注意深く見て、自分に合ったものを選択してやってみる。

参考までに

(6)勉強のコツ(学習の3段階理論)

授業で、うんなるほどと「理解」すること - 先生の目を見ながら真剣に授業に臨むこと。

わからないままにしないこと { わからない言葉は、辞書を引くこと。  
わからないことは、先生に質問すること。

一度うんなるほどと「理解」したことを、すべて確実に「定着」させること。

**音読** 声を出して何十回、何百回も読むこと。 - 何も見ずにスラスラ言えるまでにすること。

**書き取り** スラスラ言えるようになったことを、**楷書**で正確に書けるまでに書き取り練習すること。

**計算練習** 計算問題は6回解くこと。問題を見た瞬間に答えが出るまでにすること。

合格点がとれること 過去問10年分の研究。同じ間違いをしないこと。

### 3. おわりに

(1)あせる必要は全くない。

(2)95歳で死ぬのも105歳で死ぬのも、人生にとっては大きな差ではない。少しの失敗や少しの遅れは気にしないこと。悩まないこと。悩む時間があったら、少しでも勉強すること。少しでも本を読むこと。少しでもよい場所でよい時間を過ごすこと。

(3)東京には、素晴らしい美術館、コンサートホール、映画館、文化施設、大学が数多くあり、すべての人に開かれている。

世界一素晴らしい都会が東京。東京のよさを十分知り、自分のものとしよう。

(4)東京のよさと同時に、日本のよさ、Asiaのよさ、地球のよさも知ろう。

(5)自分の家族のよさ、友達のよさ、学校のよさ、墨田区のよさも知る努力をしよう。

(6)自分のよさにも気付こう。自分のよさをどう伸ばせばよいのかも、少しずつ考えよう。とても困ったら誰かに気軽に気楽にだれかに相談してみよう。

(7)自分にとって美しい生き方とは何かを考え、大切にしながら毎日を過ごそう。自分にとって大切にしたいものは何かを考えよう。

(8)そのために、たまには小さな旅に出掛けよう。旅に出て本当の自分を見つけよう。(たとえ半日でも自分の時間を持つ)

### **質問事項**

以上  
御清聴を感謝いたします。